

シンポジウムの開催

平成 23 年度の取組み成果を共有し、平成 24 年度以降の栗生線の利用促進を誘導する施策の取り組みのキックオフとすることを目的として、シンポジウムを開催した。

(1) 目的

神戸電鉄栗生線の活性化を目指し、栗生線がなくなれば改めて実感すると見込まれる地価の値下がり等の情報を提示することにより、栗生線の問題とは沿線に関わる各々の生活の問題であることの「気づき」を促し、栗生線を残していくために自分ができることを考えることを通じて、参加者各自に行動変容のきっかけを提供することを目的とする。

(2) 概要

開催概要は以下のとおりである。

- 日時:平成 24 年 2 月 19 日(日)(開場:12 時 30 分) 13 時 00 分～16 時 00 分
- 場所:三木市文化会館 小ホール(席数 537 席)
- 主催:神戸電鉄栗生線活性化協議会
- テーマ:乗って残そう 栗生線のある未来の生活

(3) 開催内容

京都大学大学院特定教授であり、栗生線活性化協議会座長を務める土井勉教授より「持続可能な公共交通と栗生線の活性化」と題した基調講演や、栗生線沿線の小野高等学校、三木東高等学校や岡山市を中心に活動されている「NPO 法人公共の交通ラクダ」の岡理事長による取り組み報告の他、沿線住民代表や学識経験者を交えたパネルディスカッション形式での議論を行った。なお、休憩時間は、栗生線活性化協議会の取り組みを紹介したポスターや沿線情報のパネル提示の閲覧や、来場者向け TFP アンケートの回答時間とした

プログラム詳細

| | |
|--------------------------|---|
| 13:00 開会 | 北井 信一郎 栗生線活性化協議会会長・三木市理事 |
| 13:05 基調講演 | 「持続可能な公共交通と栗生線の活性化」 土井 勉 京都大学大学院特定教授・栗生線活性化協議会座長 |
| 13:50 取り組み報告 | 小野高等学校 ラジオドキュメント作品「線路はどこまでも続かない」 三木東高等学校 経営アントレプレナー等の取り組み RACDA 岡会長 RACDAの取り組み紹介 |
| 14:25 休憩・パネル展示鑑賞 | |
| 14:35 パネルディスカッション | コーディネータ 土井 勉 京都大学大学院特定教授・栗生線活性化協議会座長 パネリスト 安福 恵子 三木市区長協議会連合会会長 多鹿 豊 小野市商店街理事 中野 美都子 神戸市西区押部谷町連合自治協議会副会長 岡 将男 NPO法人公共の交通ラクダ 理事長 正司 健一 神戸大学大学院 経営学研究科 教授 三津澤 修 神戸電鉄株式会社 常務取締役・鉄道事業本部長 北井 信一郎 栗生線活性化協議会会長・三木市理事 |
| 16:00 閉会 | |